

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

公益財団法人日本食品化学研究振興財団 令和 8 年度（後期）シンポジウム 開催等助成募集

本財団は、食品添加物その他食品化学に関するシンポジウム開催等に対し、下記により助成募集を行います。詳細は募集要項をご確認ください。助成対象：2026 年 10 月 1 日（木）～2027 年 3 月 31 日（水）までの間に開催される食品化学に関するシンポジウム等。助成金額：1 件 15 万円～50 万円。応募資格：(1) 申請者は、開催するシンポジウム等の代表者として、(2) 助成は原則として、同一機関に対し、各年度の前期・後期の募集ごとに、それぞれ 1 回限りとして、応募締切：7 月 25 日（土）必着。募集要項および申請用紙の入手：HP (<https://www.ficr.or.jp/>) より入手願います。

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 先行的活動に係る公募のご案内

GSC 構想は、ディープテック分野の研究開発から事業化までを一気通貫で支援するフラッグシップ拠点を通じて、世界最高水準のイノベーション・エコシステムの構築を目指す構想で、構想の実現にあたって、貴学会の研究領域も含むディープテック分野の研究開発から事業化までを一気通貫で支援する取組を実施します。GSC 構想を実現するための取組の一環として、今年度より先行的活動が本格的に始動します。この先行的活動は、以下の 3 プログラムについて、今後 3 年間、総額 270 億円規模で取り組んでいくものです。ご関心に沿うプログラムがあれば奮ってご応募下さい。(1) 国際研究プログラム：ベンチャー・ディレクターが設定する革新的な研究テーマの下、海外機関との連携も含め、事業化を目指す野心的な研究者を支援、(2) 事業化支援プログラム：ディ-

プテック分野における研究段階からグローバル展開を見据え、事業化を目指す創業候補者を支援、(3) 人材育成プログラム：日本の研究者や支援者等の海外派遣や我が国イノベーション・エコシステムに参画する意欲の高い海外研究者の呼び込み等を支援。※GSC 特設 HP (https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/global_startup_campus_initiative/index.html) に公募情報を掲載していきますので、ぜひご参照下さい。

令和 8 年度地球シミュレータ「チャレンジ利用課題」の募集

海洋研究開発機構では、弊機構が運用するスーパーコンピュータ「地球シミュレータ (ES)」の利用に係る、令和 8 年度 ES「チャレンジ利用課題」の募集を行っております。「チャレンジ利用課題」は、「所内課題」「公募課題」に加えて、挑戦的な利用や大型計算機の利用推進等による利用を目的として、機構の内外を問わず募集するものです。皆様からのご応募をお待ちしております。詳細は HP (<https://www.jamstec.go.jp/es/jp/project/r08challenge-es.html>) をご覧下さい。

Chemist Award BCA & Lectureship Award MBLA 2026 募集

対象：有機合成化学およびその関連分野。資格：(1) 国内の大学またはこれに準ずる研究機関において研究活動に従事し、2026 年 4 月 1 日の時点で満 40 歳未満の研究者。(2) 国籍は問わないが、日本国内の大学または研究機関で実施された研究。(3) 他者の推薦のある者。(4) 各賞 (BCA・学会賞・奨励賞・進歩賞) の受賞経歴は問わない。≪ Chemist Award BCA ≫ 表彰：記念品 (盾) の授与、当部会 HP、関連専門誌等での発表。選考方法：選考委員会により数名を 2026 年 10 月頃決定予定。≪ Lectureship Award MBLA ≫ 表

彰：当部会共催シンポジウム (札幌、仙台、福岡のいずれか) での研究発表および表彰式、海外の著名大学および研究機関における講演、当部会 HP、関連専門誌等での発表。選考方法：選考委員会により 1 名を 2027 年 2 月頃決定予定。応募方法：下記 HP から応募。応募締切：8 月 20 日（木）問合先：101-8307 千代田区神田駿河台 1-5 日本化学会 有機化学若手育成部会「BCA/MBLA」事務局 E-mail: ocyrd@chemistry.or.jp <https://ocyrd.csj.jp/>

2026 年度 岩谷直治記念賞候補者推薦

表彰の対象：次の項目に関し優れた技術開発がすでに完成し、かつ顕著な産業上の実績があると認めた業績。生産プロセスの合理化によるエネルギーの有効利用、効果的な環境保全の達成と顕著な産業上の実績、エネルギーおよび環境に関する独創的な技術の開発と顕著な産業上の実績、エネルギーおよび環境に関連した新素材、バイオ新技術およびエレクトロニクス新技術の開発と顕著な産業上の実績。対象者：日本の学会・協会またはその他機関から推薦を受けた個人またはグループ。代表研究者および共同研究者は必ずしも学会・協会の会員その他機関等の所属員であることを要しない。詳細は HP (<https://www.iwatani-foundation.or.jp/awards/>) をご参照下さい。内容：一般・中小企業各 2 件以内で、1 件につき賞状、賞牌および副賞 500 万円を贈呈。応募締切：2026 年 8 月 31 日（月）。問合先：公益財団法人岩谷直治記念財団 電話 (03) 6225-2400 FAX (03) 6910-2980 <https://www.iwatani-foundation.or.jp> E-mail: information@iwatani-foundation.or.jp

2026 年度第 53 回 岩谷科学技術研究助成金応募

研究課題：エネルギーおよび環境に関する独創的で優れた研究。対象者：日本の国・公・私立大学 (大学附置または附属研究所を含む) および高等専門学校に所属する研究者個人 (学生を除く) またはグループ。助成内容：第 53 回 (2026 年度) 岩谷科学技術研究助成。助成限度額：1 件当たり 300 万円 (100 件程度を予定)。助成期間：2027 年 4 月から始まる 1 年間を基本。応募締切日：2026 年 7 月 31 日（金）。詳細：HP (<https://www.iwatani-foundation.or.jp/grants/>)。問合先：公益財団法人岩谷直治記念財団 電話 (03) 6225-2440 FAX (03) 6910-2980 <https://www.iwatani-foundation.or.jp>

or.jp E-mail: information@iwatani-foundation.or.jp

2026 年度第 4 回 岩谷科学技術特別研究助成金応募

研究課題：エネルギーおよび環境に関する独創的で優れた研究。対象者：日本の国・公・私立大学 (大学附置または附属研究所を含む) および高等専門学校に所属する研究者個人 (学生を除く) またはグループ。助成内容：第 4 回 (2026 年度) 岩谷科学技術特別研究助成。助成限度額：1 件当たり 1,000 万円 (15 件程度を予定)。助成期間：2026 年 4 月から始まる 3 年間を基本。応募締切日：2026 年 7 月 31 日（金）。詳細：HP (<https://www.iwatani-foundation.or.jp/grants/>)。問合先：公益財団法人岩谷直治記念財団 電話 (03) 6225-2440 FAX (03) 6910-2980 <https://www.iwatani-foundation.or.jp> E-mail: information@iwatani-foundation.or.jp

JST 日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業 (NEXUS) 日本・タイ「先端材料」分野 2026 年度国際共同研究提案の募集

日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業 (NEXUS) では、「日 ASEAN 友好協力 50 周年」を機に、日 ASEAN の長きにわたる国際共同研究や人材交流などの取り組みを基盤とし、双方の強みを生かした柔軟で重層的な科学技術協力を推進します。その一環として、JST ではタイフロンティア・ブレインパワーおよび未来産業のためのプログラム管理ユニット (PMU-B) と協力し、「先端材料」分野において国際共同研究の提案を募集しています。詳細は HP (<https://www.jst.go.jp/aspire/nexus/koubo/country/thailand.html>) をご確認ください。締切：2026 年 7 月 31 日（金）14 時（日本時間）。研究領域・サブトピック先端材料 (持続可能かつ拡張性のある産業用途) 1. 産業・環境応用のための先端材料例：半導体、排出ガス低減用触媒、耐食性コーティング、環境モニタリング用センサー、電池・燃料電池用材料など。2. 農業廃棄物や産業廃棄物から循環型ものづくりを実現する先端材料【例：農業廃棄物由来の生分解性ポリマー、フライアッシュやスラグをアップサイクルした材料、バイオマス由来の材料、電子廃棄物由来の材料など】。研究提案募集に関する問合先：国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 国際部 先端国際共同研究推進室 ASEAN 連携グループ E-mail: joint-call-ja@jst.go.jp